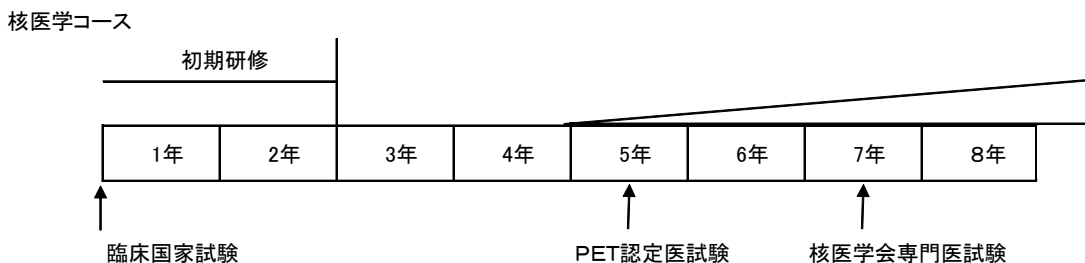


## 日本核医学会専門医、PET核医学認定医コース（放射線科）

### （１）コースの全体像

日本核医学会が認定する日本核医学会専門医の取得を目指す。岐阜大学医学部附属病院にて、日本核医学会専門医の指導のもと、核医学の基礎や専門知識を学び、各検査の原理、方法、手技、読影を身につける。当院ではPET-CT検査も行っており、FDG-PET検査についても幅広い知識の習得を目指す。また、甲状腺機能亢進症に対するアイソトープ内用療法についても、原理、手技、適応などを身につけることが可能である。初期研修終了後の卒後3年目から約5年間の研修にて専門医受験資格が得られる。PET認定医の受験資格は、核医学診断の3年以上の経験にて得られる。



### （２）コースの概要

大学病院・医療機関名	診療科名	専門分野名	指導者数	目的	養成（受入）人数	期間
岐阜大学医学部附属病院	放射線科	放射線医学	1名	核医学会専門医、PET認定医の取得	2名	約5年
				受入人数	2名	

### (3) コースの実績

2台のガンマカメラ装置、1台のガンマカメラ-CT装置にて、年間およそ2000件を越える核医学検査を実施している。当院の特徴として、脳神経外科や神経内科との連携のもと、脳血流定量検査でのSEE解析、SEE-JET解析、3D-SRT解析や、認知症に対するeZIS解析、SVA解析などを行っており、脳血流定量検査は年間100件を越える実績を有する。また、FDG-PET検査を月120件程度実施している。

### (4) コースの指導状況

日本核医学会専門医1名の指導のもと、核医学の基礎や専門知識を学び、各検査の原理、方法、手技、読影を身につける。

### (5) 専門医の取得等

学会等名	日本核医学会
資格名	日本核医学会専門医
資格要件	受験申請の時点で、下記のすべてを満たすこと。 (1) 日本核医学会の正会員であること。 (2) 医師国家試験合格後5年以上経過していること。なお、平成16年4月の新医師臨床研修制度発足後に同制度による臨床研修（以下、初期臨床研修）を開始した場合、医師国家試験合格後6年以上経過していること。 (3) 医師としての臨床経験が研修医の2年間を含んで5年以上あること。なお、新医師臨床研修制度発足後に初期臨床研修を開始した場合、医師としての臨床経験が初期臨床研修期間の2年間を含んで6年以上あること。 (4) 日本核医学会が認定する教育病院において、核医学会専門医の指導で所定のカリキュラムによる核医学診療並びに放射性物質安全取扱いの基礎事項の研修歴が5年以上あること。
資格名	PET認定医
資格要件	下記のすべてを満たすこと。 ① 日本核医学会員であること。 ② 核医学診断の経験を3年以上有すること。 ③ 日本核医学会春季大会（合同セミナー）で開催されるPET研修セミナーあるいは日本核医学会が特に認定するPET研修セミナーに1回以上参加するとともに、日本核医学会が実施するPET核医学認定医試験を受験し合格すること。
学会の連携等の概要	特になし